18年ぶりの新規採用を勝ち取る
凍結していた北支部〝青年部〟も再発進

いま　No.31
清掃事業は・・・
▶▶▶▶ 北区

北区の清掃事業は、北区清掃事務所（作業第一係）、滝野川清掃庁舎（作業第二係）、浮間事業所（車庫）で構成され、浮間事業所には運転手と作業第一係から収集作業員（職員）10名が配置されています。

今年度の作業計画について、新大が1台増車され、●作業第一係【可燃】大ダ1台（車付）・新大2台（車付）・新中1台（併せ・車付）・小プ13台（車付7）、小特4台・軽ダ5台・訪問収集班軽1台・対策車1台（人員配置なし）【不燃】新中1台（併せ・車付）・軽ダ9台・残渣小プ1台（人員配置なし）【ふれあい班】3組体制【粗大】委託【資源】委託●作業第二係【可燃】小プ6台・小特3台・軽ダ10台（車付6）【不燃】軽ダ4台【ふれあい班】2組体制【資源】委託●浮間事業所、可燃直営小プ4台稼働となっています。

人員については、昨年度18年振りに5名、今年度6名の新規採用を勝ち取ることができましたが、再任用の職や会計年度任用職員の現場配置先等、課題が残されています。

委託や車付雇上の導入が過半数を占めていますが、個人情報漏洩防止の観点から、車付雇上で行っていた訪問収集を直営収集に切り替えていく必要があります。昨年度、再任用の職の確保を含め、新たに訪問班を設置することができました。

組織現状について、新規事業である「プラスチック製容器包装資源化事業」も控えており、新たに統括技能長が設置されました。担当技能長は作業第一係に3名、今年度、第二係に2名の配置がされ合計5名の配置がされています。担当技能長の職のあり方を確立しながら、各ブロックへの配置を目標とし、現場で活躍できる技能長を増設していく必要があります。

今後は、北清掃工場建替期間の労働条件の確保が優先

また、北清掃工場の建て替えも控えています。建て替え工事期間に伴う能率、機材、人員についても当局と十分な交渉が必要となってきます。

問題や課題は尽きませんが、一方で喜ばしい課題もあります。新人の育成です。18年振りの新規採用ということもあり、後輩への接し方やコミュニケーションの取り方に戸惑いもありますが、収集作業や組合活動等を新人組合員に継承していく必要があります。しかし、このままでは今後採用される職員は、委託や車付雇上現場の集積所に携わることができない可能性があります。収集現場を把握できずには、委託管理のノウハウの継承すら困難でしょう。区民と直接ふれあう機会の多い清掃職員は、北区全域の様々な情報を経年的に把握する必要があります。

安心・安全で質の高い公共サービスを安定して提供するには、今後、北区の清掃事業を担う新人組合員の将来を見据えたプランが必須であり、そこに向けた北支部の取り組みが重要になります。

昨年度には、凍結していた北支部青年部が再発進をしました。更に支部執行部の内3名は担当技能長です。全組合員が団結し、次世代が現場で活躍できる職場を構築し、労働条件の維持向上を図っていきたいと思います。

（北区担当中執　山﨑　竜也）

住民の生命と暮らしを守るため 自信と誇りを胸に 地域公共サービスの向上を！

自治労第3回清掃政策集会に参加

自治労第3回清掃政策集会が5月30日（日）に開催され、東京清掃から12名が参加しました。札幌での開催が予定されていましたが、コロナ禍の影響を考慮し、自治労会館での開催・web参加となりました。

第一部では清掃労働者の災害時の役割をテーマに、「自治体における災害廃棄物対策について」の講演、支援・受援の経験を踏まえた単組報告を受けました。災害廃棄物の処理には平時と同じように収集運搬処理が大事になりますが、もう一つ「仮置き場」という大きな課題があります。この仮置き場に関する経験を踏まえた報告を受けられたことは、東京における災害時対策に向けて大きなヒントになります。

第二部では地域とのかかわりによる職の確立をテーマとし、大東文化大学の藤井准教授より新宿区における繁華街の美化運動を基にした講演、3単組から特徴的な業務の報告を受けました。住民との協働、住民ニーズの把握と実践、住民への啓発活動、これらの収集以外の業務がいかに大事か、参加者全体で共有できたと思います。

今回は単組報告が多くありました。まさしく『実態』であり、自ら経験していないことを知識として取り入れられる大きな取組だと改めて感じました。この知識を活かし、平時も災害時も住民の生活を守るための取組を進めていきましょう！

（萩原　崇氏）

書面大会での開催を やむなく判断

第二地連

2020年度度第二地連年次総会を5月17日（月）SKホールにて開催をするところでしたが、緊急事態宣言の発令に伴い、苦渋の判断として2019年度の年次総会同様、2年連続での文書総会となりました。

文書総会ということで、地連内各支部へ経過報告・会計決算・方針・予算・役員体制等のデーターを送付し、各支部で議論をお願いし確認されました。

地連としてコロナウイルス感染の対策を講じながら、確認された方針をもとに学習と交流を基軸に横の繋がりをし、組織強化に向け取り組んで行きます。

今後ともよろしくお願いいたします。

（第二地連議長　原田輝高）

2021年度第二地連役員体制（四役のみ）

議長	原田　輝高	（台東）
副議長	緒方　雄一	（文京）
〃	武井　正雄	（北）
事務局長	東海林　一久	（荒川）
事務局次長	小野瀬　修	（北）
会計	植村　純	（台東）

※敬称略

《ひとこと》

▼清掃労働者の方々なら、カラスに荒らされた集積所にため息をついた経験が何度となくあるだろう。そんな集積所を前に、私たちは舌打ちの一つでも打ちつつ、かき板でせっせと散乱したごみを片付けるしかないのである。そんな最も身近で憎らしい野鳥「カラス」はどんな生き物なのだろう？我が支部の組合事務所に、誰が持ち込んだのか「カラスの教科書」という本がある。

▼カラスの基礎知識、カラスと餌と博物学、カラスの取扱説明書、カラスのQ&Aの四つの章と、おまけの「あなたのカラス度診断」で構成されていて、カラスの生態や特徴を楽しく学ぶことができる。この本を読み終えると、憎たらしかったカラスの気持ちが少しだけ理解できて、少しだけ愛おしく感じることができるかもしれない。

▼住民からのカラス被害の相談にも、カラスの気持ちになってアドバイスができるかもしれない。清掃労働者の方々には、機会があったら是非読んで欲しい一冊である。ちなみに私のカラス度は30％でした。

（板橋区担当中執　結城　貴行）